



にしはら



9月7日は西原町議会議員選挙

※第2投票所はこれまで西原南小学校でしたが、
今回から西原町役場に変更されます。

投票、お忘れなく!!

投票箱

西原町議会議員選挙

明るい選挙キャラクター 選挙の「めいすいくん」

町の世帯・人口 平成26年7月31日現在

人口	男	17,635人
	女	17,539人
	計	35,174人
世帯数		13,673世帯

特定健診の受診状況 (平成26年7月末日現在)

受診率	8.7%
平成26年度受診率目標	45.0%
目標まであと	2,385人

今月のトピックス

- 保育所・幼稚園入園申込みについて 2
- 西原町海外移住者子弟研修生受入事業 7
- 子育てサポーター養成講座 3
- 都市計画の変更について(小那覇・東崎工業地区) ... 10
- 敬老祝金の支給について 4
- 証明書発行等の手数料改定 11
- 臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金 ... 6

西原町ホームページ <http://www.town.nishihara.okinawa.jp/>

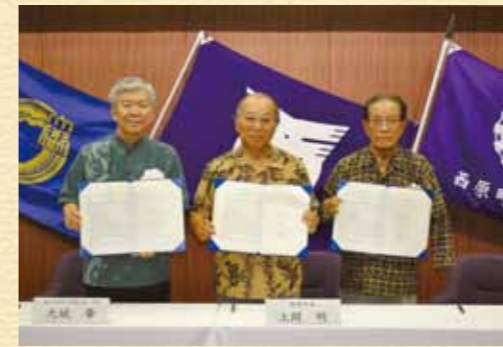
琉球大学、西原町商工会、西原町の3団体で包括連携協定を締結

琉球大学と西原町商工会、西原町の3団体が、相互に密接な連携協力を図り、創造性のあるまちづくりと地域産業の振興、学術研究の発展と人材育成に寄与し、「文教のまち西原」づくりに資することを目的に、包括連携協定を締結しました。8月1日に西原町役場議事堂で締結式が行われ、多くの関係者が出席しました。



包括連携協定の締結式

琉球大学が自治体と連携協定を締結するのは3例目ですが、地域の商工会を加えた3者が関わる協定の締結は、県内で初めての事例です。今回の協定は、連携する分野が地域ブランドの創出、環境保全、防災、医療や福祉の向上、産業、教育など多岐にわた



左から大城肇学長、上間明町長、濱門稔会長

ており、円滑な連携体制を図るための「連携推進協議会」の設置が定められています。

協定の締結にあたって、琉球大学の^{おおしろはじめ}大城肇学長は「地域貢献を大学の大きな柱に掲げ、全学を挙げて取り組んでいる。大学の持つさまざまな知を還元し、地域の発展に寄与することは大学の使命であり責務。これまで以上に地元のニーズに応えることのできる大学、地域から愛される大学を目指したい」と意気込みを語りました。

西原町商工会の^{はまじょうみのる}濱門稔会長は「円滑な連携協力体制を推進し、具体的成果の出る実効性の高い協定を目指したい。交流促進がさらに高まり、今後の地域振興への貢献に期待する」とあいさつしました。

上間明町長は「このように密接な連携協力を構築する協定を結ぶことになったのは、まことに嬉しいこと。今後は目的の実現を目指し、各機関の存在価値を一層高めて、西原町のさらなる発展につなげたい」と抱負を語りました。

地元のお仕事を体験！「グッジョブ☆にしはら わくわくワーク」

地域のさまざまな仕事を体験し、働くことの楽しさや大切さを学ぶ「グッジョブ☆にしはら わくわくワーク」(同連絡協議会主催)が、7月27日に西原町役場の町民交流センターで開催されました。

このイベントは沖縄県と西原町が連携して開催したものです。仕事体験を通して子どもたちに夢と希望を与え、職業観やチャレンジ精神を育むことを目的として、学校、企業、PTA等が協力して実施されました。

小中学生を中心に町内外から1,000名を超える親子が参加。地元の企業や団体を中心に20社より22のブースが設けられました。参加者は各ブースで自動車整備やパーティーサービス、ヘアメイクなど、さまざまな仕事やものづくりを体験しました。



子どもたちがいろいろな仕事を体験しました

第7回 西原町の産業まつりテーマ募集

【第7回西原町の産業まつり】(主催:同実行委員会)を開催するにあたり、広く町民のみならずよりテーマ募集を行います。西原町の地域産業の振興・発展につながるようなテーマをお待ちしています。

【応募方法】応募作品に加え「住所・氏名・電話番号・作品へのメッセージ」を記入し、応募してください。(様式は問いません)郵送、FAX、メール等でご応募ください。

【応募締切】9月26日(金)

【表彰】第7回西原町の産業まつりのプログラム内で表彰。西原町の特産品詰め合わせを進呈。

※ 応募の詳細は、西原町ホームページをご覧ください。お気軽に事務局へお問い合わせください ※

応募先 西原町の産業まつり実行委員会事務局(建設部産業課内) ☎945-4540 FAX 945-4580
Eメール: atsuya@town.nishihara.okinawa.jp.